

モンタナ留学報告書

文学部 英語英米文学科 渡邊真弓

最初に留学したいと考えたのは約8年前、私が中学生の時でした。それは私にとって、「通訳になりたい」という夢と同時に抱いた、大きな夢の一つでした。その当時は、留学に関する具体的なプランは何もなく、いつかできたらいいなという程度の漠然とした夢でしかありませんでした。しかし、高校生のころには留学は漠然とした夢から私にとっての大きな目標となり、どうすれば留学のチャンスを得られるかを模索している際に本学の交換留学制度を知り、本学への進学を決めました。これほど長く想い続けたことはないというほど、留学は私の人生において大きな目標だったのです。

いざ交換留学生としてモンタナ州立大学ピリングス校へ留学したのは、9月のまだ暑い日でした。留學生活初日、私たちは **international students** として中国や韓国、サウジアラビアなど様々な国からの留学生と一緒にオリエンテーションを受けました。すべてが英語であることももちろんですが、それぞれが英語を流暢に話せるわけではないので、お互いにうまくコミュニケーションが取れず戸惑ったことを今でも覚えています。それでも、コミュニケーションを取るには英語しかない訳ですから、なんとか自分が言いたいことを言葉にして伝えるように努力しました。



留學生活で一番苦勞したのは、もちろんのことながら授業でした。授業の内容を聞き取れない、自分の意見を英語で話せないなど課題は山積みで、はじめの頃は毎日とても憂鬱な日々でした。しかし、先生方は私にとって授業を聞き取ることすら大変であることを理解してくださり、「今のは理解できた？」や「分からないことがあったらいつでもサポートするから遠慮せずに言ってね！」と常に私を気遣ってくださり、クラスメイト達も私のたどたどしい英語での発言やスピーチを熱心に聴いてくれて、“Good job!”と言葉をかけてくれたり、テスト前には頑張ろうと励ましてくれたりしました。留學中の成績は、正直あまり良いとは言えませんでした。そのようなたくさんのサポートのおかげで授業を精いっぱい楽しむことができました。おそらく人生の中でこれほど努力したことはないと言言できるほど、毎日一生懸命授業に取り組んだ日々でした。

つらい Fall semester を乗り越えると、winter break という大きなご褒美が待っていました。私は一緒に留学していた友達と 2 人で約 3 週間のカリフォルニア旅行へ行きました。サンフランシスコ・サンディエゴ・アナハイムのディズニーランドで大みそかのカウントダウン・そしてロサンゼルスと、カリフォルニアをぐるっと一周しました。サンディエゴでは、モンタナで出会った友達が里帰りするという事で、彼にビーチやレストランなどを案内してもらいました。どこも本当に美しいところばかりで、人生の中で最も贅沢な 3 週間の旅行となりました。



モンタナでは本当にたくさんの方々にお世話になりましたが、その中でも本当に親切にしてくださったのはホストファミリーの Tony と Tina でした。彼らはモンタナに到着した日に必要なものの買い出しに連れて行ってくれたり、Thanksgiving day のパーティーや Super Ball 観戦のために自宅に招待してくれたりしました。特に Super Ball 観戦の時には彼らの親戚も大集合し、テレビの前で持ち寄った料理を食べながら試合観戦し盛り上がり、アメリカンフットボールについて何も知らない私にルールを教えてくださいました。Tony と Tinaのおかげでいろいろな方々と出会うことができました。また彼らは日本にとっても興味を持っていて、日本について語ったりもしました。彼らのおかげで、私の留学生活はさらに充実したものになりました。



約 10 カ月の留学生活で得たものの中で、最も大切なのは友達です。私が一番仲良くしていたのが、ドイツと香港からの留学生でした。この 2 人からは、本当にたくさんのことを学びました。自分の意見をはっきり主張すること、どんなことに対しても積極的に楽しんで取り組むこと、どちらも私にはできなかったことであり、できるようになりたいと考えていたことでもありました。彼女たちはいいい意味でとても自由で、いろんなことを気にしすぎて自己主張ができない私にとってはとても新鮮でした。

私は、彼女たちをお手本とすることで少しずつではありますが自分の性格を変える努力をしました。そのような内面的、精神的な変化は、自分に自信をつける大きなきっかけになりました。素晴らしい友人との出会いは、私にとって留学生活における最大の幸運だったと思います。



約 10 カ月間のモンタナ州立大学での留学生活の中で、私はたくさんを経験し、たくさんの人に出会いました。留学は、多くの素晴らしい経験ができたという点においても、自分自身の成長という点においても、私の人生において本当に大きな出来事となりました。漠然とした夢でしかなかった留学を実現させるまでの過程も含めて、必死に努力し、つらいことや大変なことも乗り越え、す

べてのことに全力で取り組むことができた、本当に充実した日々でした。英語というたった一つの共通の言葉を話し、理解することができるだけで、様々な国の人々とコミュニケーションが取れ、全く異なる宗教、文化を持っていても理解する努力をすれば壁を取り払うことはできるのだと学びました。このような経験を通して、異なる言語を話し、異なる文化や宗教を持つ人々をつなぐ懸け橋のような役割になることができる通訳という職業に就きたいという思いがさらに強くなりました。留学を経験したおかげで、卒業後は通訳専門学校へ進学することを決心しました。自分がどこまでできるのか、成功できるのかなど不安は尽きませんが、ずっと先のことを不安視してやる前から諦めるよりも、自分が納得いくまで努力したいと考えています。留学中に経験したすべてのことは、私の英語の能力だけでなく、精神面でも大きく成長させてくれました。留学中に学んだこと、そして自身の成長した部分を生かし、次の目標にむけて、再び必死に努力していきたいと思えます。

最後に、留学を後押しし、留学中もいつも私を励まし、サポートしてくれた家族、応援してくれた日本の友人たち、留学中にお世話になった方々、モンタナで出会った方々に心から感謝します。皆さんのおかげで、私は本当に素晴らしい留学生活を送ることができました。本当にありがとうございました。